

2026年7月14日

Press Release

報道関係各位

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

第2回 JANPIAメディアセミナーを開催 「妊娠・出産・子育て期の『孤立』をどう防ぐか」 ～休眠預金活用事業で広がる、地域に寄り添う支援～

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（所在地：東京都千代田区、理事長：二宮 雅也、英文名：Japan Network for Public Interest Activities、略称：JANPIA）は、2026年8月5日（水）に、第2回JANPIAメディアセミナー「妊娠・出産・子育て期の『孤立』をどう防ぐか ～休眠預金活用事業で広がる、地域に寄り添う支援～」を開催します。

妊娠を誰にも相談できない若者、安心して出産や子育てに向き合うための支援につながらない家庭、地域とのつながりを持てず孤立する母親など、妊娠期から子育て期にかけては、さまざまな困難を抱えながらも必要な支援につなぐににくいケースがあります。こうした課題に対し、地域では行政や医療機関、NPO、地域住民など多様な主体が連携し、それぞれの地域特性に応じた支援が進められています。

本セミナーでは、「妊娠・出産・子育て期の孤立」をテーマに、休眠預金活用事業を通じて支援に取り組む団体が登壇し、現場で見てきた社会課題や、相談支援、居場所づくり、地域コミュニティづくりなど、それぞれの地域で実践している取り組みを紹介します。

また、ジャーナリストの浜田敬子氏をファシリテーターに迎え、登壇団体との対話を通じて、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援をつないでいくために必要な視点や、行政・医療・地域・NPOの連携、休眠預金活用事業を通じて新たに始まった取り組みなどについて掘り下げ、孤立を防ぐために地域や社会に求められる支援のあり方を考えます。

本セミナーを通じて、妊娠・出産・子育て期における孤立という社会課題への理解を深めるとともに、休眠預金活用事業による地域の取り組みや、多様な主体が連携して社会課題の解決に取り組む意義を広く発信します。

■開催概要

名 称：第2回 JANPIAメディアセミナー

テ ー マ：妊娠・出産・子育て期の「孤立」をどう防ぐか ～休眠預金活用事業で広がる、地域に寄り添う支援～

日 時：2026年8月5日（水）13:30～15:05（開場13:15）

開催形式：ハイブリッド開催（会場・オンライン）

会 場：一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）大会議室
（東京都千代田区内幸町2-2-3 3階 日比谷国際ビル312）

対 象：新聞、テレビ、雑誌、WEBメディア等の報道関係者

参加申込：以下のフォームよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/byX6pCer49>



■プログラム（予定）

- 13:30～13:40 開会挨拶・休眠預金等活用制度紹介
- 13:40～13:45 ファシリテーターによるイントロダクション・登壇者紹介
- 13:45～14:00 事例① 認定特定非営利活動法人ピッコラーレの取り組み
- 14:00～14:15 事例② 特定非営利活動法人妊娠しえとSOSの取り組み
- 14:15～14:30 事例③ 特定非営利活動法人MotherTreeの取り組み
- 14:30～14:55 クロストーク・ディスカッション
- 14:55～15:05 質疑応答

※プログラムは変更となる場合があります。

■登壇者プロフィール



認定特定非営利活動法人ピッコラーレ（東京都）

代表理事 中島 かおり 氏

事業名：未婚若年母子や若年妊婦の暮らしを支えるワンストップ支援拠点事業

<https://johokoukai.janpia.or.jp/result/A203184/>

第2子の出産をきっかけに助産師を目指し、その後病院や助産院で助産師として働く。妊娠から出産、子育てを継続的に伴走する助産師でありたいと地域で活動する傍ら、認定NPO法人ピッコラーレの運営に代表として携わる。著書に『漂流女子』朝日新聞出版(2017年)。内閣府「性暴力に関するSNS相談マニュアル作成に係る検討会」委員（2021年）。内閣官房「こども政策の推進に係る有識者会議」臨時構成員（2021-22年）。子ども家庭審議会社会的養育・家庭支援部会 構成員（2023年）。こども家庭庁 社会的養育・家庭支援部会 委員（2023年-2025年）。こども家庭庁 プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会委員（2024-2025年）。



特定非営利活動法人妊娠しえとSOS（岡山県）

理事長 小林 智子 氏

事業名：危機的妊娠をした居場所のない妊婦のシェルターとなる建物の建設・運営と就労支援への準備 <https://johokoukai.janpia.or.jp/result/A201114/>

岡山市南区で2015年から出産ができる助産院を開設している開業助産師で、年間5～12件の自然分娩を扱う。助産院では出産以外に産後ケア事業・乳房ケア・育児相談等を行う。また、岡山県の性と健康の相談センター相談員や岡山市の訪問指導員として新生児訪問や養育支援事業に携わり、行政と顔の見える関係が構築できるよう努めている。2022年2月にNPO法人を設立し妊娠SOS相談に対応中。



特定非営利活動法人MotherTree（福島県）

理事長 宮崎 恵美 氏

事業名：周産期～育児期にある母親が社会的に孤立しない包括的支援体制の整備～

<https://johokoukai.janpia.or.jp/result/A201917/>

看護師・保健師として、小児科・NICU・精神科での臨床、大学での家族看護・小児看護教育に携わる。現在はNPO法人MotherTree理事長として、養育者への相談支援、訪問型家事育児支援、親子の居場所、産後ケア、子育てレスパイト等を運営。1,000件を超える相談に対応し、行政・医療・福祉機関と連携しながら、親子の孤立や困難を深刻化させない地域支援モデルの構築に取り組む。

■ファシリテーター



ジャーナリスト 浜田 敬子 氏

1989年に朝日新聞社入社。前橋支局、仙台支局、週刊朝日編集部を経て、1999年からAERA編集部。記者として女性の生き方や働く職場の問題、国際ニュースなどを中心に取材し、AERA副編集長、編集長代理を経て、AERA初の女性編集長に就任。2016年より朝日新聞社総合プロデュース室プロデューサーとして「WORKO!」などを手掛け、2017年に退社。同年、Business Insider Japanの統括編集長として創刊を率い、2020年末に退任。2022年に一般社団法人デジタル・ジャーナリスト育成機構を設立。現在はフリーランスのジャーナリストとして活動するほか、「羽鳥慎一モーニングショー」「サンデーモーニング」のコメンテーターを務める。

■参加申込 報道関係者で参加をご希望の方は、以下の申込フォームよりお申し込みください。

【申込フォーム】 <https://forms.office.com/r/byX6pCer49>

【申込締切】 2026年8月4日（火）17時



■休眠預金等活用制度について

2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間活動の促進のために活用する制度です。

2016年12月に休眠預金等活用法が議員立法で成立し、2019年度から助成事業が開始。2023年6月に同法が改正されたことにより、2024年より活動支援団体や出資事業など新たな支援制度が開始しました。

・休眠預金等活用制度 <https://www.kyuplat.com/kyumin/details/>

■一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）について

2018年7月に経団連が主導して設立されました。経済界をはじめ、民間公益セクター、労働界、アカデミアなどオールジャパンで休眠預金等活用制度を支え、発展させ、SDGsの理念である「だれひとり取り残さない持続可能な社会作り」に貢献することを目指しています。

・JANPIA概要 <https://www.janpia.or.jp/about/outline.html>

・団体の活動を伝える「休眠預金活用プラットフォーム・メディアチャネル」 <https://www.kyuplat.com/media-channel/>

〈本件に関する報道関係からのお問合せ〉

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

企画広報部

TEL : 03-5511-2026

Mail : press@janpia.or.jp